

## 次号予告

### 特集 OR教育の系譜と現在

次号では、60年を超える歴史を有する日本OR学会の「これまで」、「いま」、そして「これから」を「OR教育の系譜と現在」と題してお届けします。学会の黎明期、草創期を牽引された大先輩を振り返りつつ、こうした方々を源流とする各大学の研究と教育の取り組みを、平成最後の年明けに紹介いたします。

### メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

### 編集後記

●このところ、春秋の研究発表会や最適化関連の研究部会に参加すると、さまざまな手法に関する実験結果が発表されていますが、そこで用いられているプログラムの実装言語としてPythonを目にする機会が、非常に多くなったと感じています。私自身、5年ほど前からPythonを用いてさまざまな最適化アルゴリズムの実装を経験してきましたが、Pythonが選択される理由として、初学者にも馴染みやすいシンタックスとともに、その豊富なライブラリ群の存在が挙げられると思います。

●本特集「Pythonによる問題解決」では、大学や企業において、Pythonを用いてさまざまな課題を解決された経験をもつ7名の方々にご執筆いただきました。

その記事の中でも、数式処理、ネットワーク分析、凸最適化といったORにも馴染みの深いものから、アプリケーション開発に関するものまで、実に多種多様なライブラリが紹介されています。

●特集原稿を読んだ後に、どのようなライブラリがあるのか個人的に調べてみたのですが、多面体の端点列挙アルゴリズム Double description method のライブラリである `pycddlib` を発見しました。Pythonといくつかのライブラリを使えば、空は飛べないまでも、少しだけ高いところから単体法の軌跡を観察することも比較的容易に実現できるようです。みなさんも、Pythonを片手に、各々の興味のある世界を羽ばたいてみたいくなるのではないのでしょうか。

(伊豆永洋一)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)  
特集担当編集委員 高野 祐一 (筑波大学)  
委員 朝日 弓未 (東海大学), 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国土交通省国土技術政策総合研究所), 伊豆永 洋一 (筑波大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 繁野 麻衣子 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成30年12月号 第63巻 第12号 通巻696号

代表者 齊藤 裕

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。